

市長就任から4年、寝屋川市の財政の「余裕度」は

大阪府内トップクラスとなりました

真実1 3年間で130億円の「貯金」を増やす

コロナ対応や各施策を積極的に行いつつも、将来の安定したまちづくりのために、市の「貯金」(基金)を3年間で130億円増やし、これまでの寝屋川市の長年の貯金150億円を「ほぼ倍増」させ、280億円まで増やすことが出来ました。災害などに備えた財政調整基金の額も、市民一人当たりの額で大阪府内都市31市中「第2位」となりました。

真実2 3年間で27億円の「借金」を減らす

貯金を大きく増やす一方で、この3年間で27億円分の「借金」(地方債)を減少させました。寝屋川市の市民一人当たりの借金は、大阪府内の他の自治体の平均を下回っています。ご家庭と同じで、収入とローンのバランスのコントロールが重要です。

真実3 財政の「余裕度」は大阪府内トップクラス

自治体の経営状態を見るときに最も重要となる指標が「経常収支比率」です。人件費や福祉の予算、借金の返済など毎年必要な経費を、税収などの収入でしっかりまかなえているか、どれだけの「余裕」があるかを示すものです。この数字が小さいほど「財政に余裕」があることとなります。寝屋川市はこの指標が大阪府内31市中、令和2年度「1位」、令和3年度「3位」と「府内トップクラス」となりました。



真実4 職員数は府内中核市で「最少」

寝屋川市の職員数は、市民1,000人当たり5.4人であり、府内中核市(枚方・高槻・吹田・豊中・東大阪・八尾の各市)で最少です。少ない人員で効率的な行政運営を行っています。これは



全国中核市でトップクラスの数値となっています。



※市民1,000人当たり職員数は、R4.1.1の各市の人口とR4.4.1の職員(全部門)で算出しています。



数字は正直で、「嘘」をつきません。

裏面「赤字」「黒字」の「からくり」

寝屋川市長



ひろせ 広瀬 けいすけ

●プロフィール

昭和45年8月31日「大阪万博の年」寝屋川市に生まれる。
成美小学校、第九中学校、上宮高等学校、明治大学 政治経済学部経済学科 卒業。
明治大学 大学院 政治経済学研究科 博士前期課程 修了
政治学(行政学)修士号 取得(専門/自治体経営など)。

— 現在 — 令和元年に第9代寝屋川市長に就任

4年間 市長給与の
30%の削減を
続けています

市の「赤字」「黒字」の“からくり”

ポイント1

市の赤字黒字は、民間企業やご家庭の赤字黒字とは
「まったく別のもの」

民間やご家庭と違い、市の場合、なぜか“貯金”をすると「お金を使ったこと」になり支出が増えたこととなります。逆に、貯金を下ろすとその分「収入が増えた」こととなります。

余裕のある市が将来のために“多額の貯金”をすれば“支出”が増えて「赤字」になり、逆に余裕のない市が貯金を一切せずに、過去の貯金を沢山下ろせば、支出がゼロで収入が増えるので「黒字」になってしまいます。

つまり

市の赤字黒字は民間のような
「経営状態を表したものではありません」のです。

ポイント2

“本当の赤字”なら3年間で130億円もの貯金はできません。

ポイント3

単年度会計の赤字は
その年に**将来に備えた“多額の貯金”**をしたから。

この仕組みは、行政・議会の関係者なら当然知っているべきものです。最近、市の「赤字」を主張する方が見られますが、もし、この仕組みを知らないで言っているのなら大きな問題です。

またもし、知っていてわざと「赤字」という言葉だけを切り取って使っているのであれば、「市民は仕組みが分からないので、「赤字」と言っておけば“不安”になるだろう」との意図が見え、市民に対して「誠実」ではないと感じます。



Twitter 発信しています!
フォローよろしくお願いします



@hirosekeisuke_

裏面をご確認ください

寝屋川市の財政は“優良”です。

寝屋川市の
「変化」を止めるな。

寝屋川市長

ひろせ

広瀬 けいすけ

広瀬けいすけ事務所 〒572-0046 寝屋川市成美町 23-8

hirosekeisuke.office@gmail.com HP https://www.hirose-keisuke.com/

